

平成 22 年 度

航 空 旅 客 動 態 調 査

— 集 計 結 果 —

平成 23 年 8 月

国 土 交 通 省 航 空 局

平成22年度 航空旅客動態調査

－ 集計結果 －

目 次

調査概要

1	調査目的	1
2	調査内容	2
3	調査対象	5
4	調査方法	5
5	調査実施日	5
6	回収状況	5
7	集計内容	7

1. 集計結果（平日）

平日	表 1	OD表（空港間純流動）	1－ 1
平日	表 2	OD表（空港間総流動）	1－ 11
平日	表 3	OD表（県間流動）	1－ 21
平日	表 4	空港別 出発地・目的地・現住所	1－ 25
平日	表 5	空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	1－147
平日	表 6	OD別 旅行目的	1－149
平日	表 7	OD別 旅行日数	1－155
平日	表 8	OD別 旅行行程	1－161
平日	表 9－1	OD別 利用航空券の種類	1－167

平日	表 9 - 2	○D別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1-172
平日	表 9 - 3	路線別	利用航空券の種類	1-177
平日	表 9 - 4	路線別	利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）	1-181
平日	表 10	○D別	乗り換え空港	1-187
平日	表 11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	1-201
平日	表 12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	1-213
平日	表 13	出発空港別	アクセス経費	1-217
平日	表 14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間	1-221
平日	表 15 - 1		空港間移動の手段	1-225
平日	表 15 - 2		空港間移動の所要時間	1-226
平日	表 15 - 3		空港間移動の経費	1-227

2. 集計結果（休日）

休日	表 1	○D表	（空港間純流動）	2- 1
休日	表 2	○D表	（空港間総流動）	2- 11
休日	表 3	○D表	（県間流動）	2- 21
休日	表 4	空港別	出発地・目的地・現住所	2- 25
休日	表 5	空港別	出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数	2-153
休日	表 6	○D別	旅行目的	2-155
休日	表 7	○D別	旅行日数	2-161
休日	表 8	○D別	旅行行程	2-167
休日	表 9 - 1	○D別	利用航空券の種類	2-173
休日	表 9 - 2	○D別	利用航空券の種類（{その他割引}の割引率の内訳）	2-178
休日	表 9 - 3	路線別	利用航空券の種類	2-183

休日	表 9 - 4	路線別	利用航空券の種類（{その他割引}の割引率の内訳）	2-187
休日	表 10	OD別	乗り換え空港	2-193
休日	表 11	出発空港別	最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無	2-209
休日	表 12	出発空港別	アクセス所要時間・乗り換え回数	2-221
休日	表 13	出発空港別	アクセス経費	2-225
休日	表 14	出発空港別	見送り人数・空港滞留時間	2-229
休日	表 15-1	空港間移動の手段		2-233
休日	表 15-2	空港間移動の所要時間		2-234
休日	表 15-3	空港間移動の経費		2-235

3. 航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析等

(1)	調査実施状況の変更点	3-1
(2)	航空を取り巻く状況の変化	3-11
(3)	調査結果の動向分析	3-13
①	調査実施時期変更の影響	3-14
②	航空機の出発時間帯別における旅客特性	3-27
③	茨城空港の開港	3-32
④	羽田国際線ターミナルビルの供用	3-39
⑤	路線の休止及び開設に伴う旅客流動特性の変化	3-47

調 査 概 要

1 調査目的

本調査は、我が国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。なお、本調査は隔年での調査実施を基本としており、平成22年度は調査年に該当していないものの、第5回全国幹線旅客流動調査が実施されることや、羽田空港の国際化に伴う旅客流動特性の変化を把握しておく必要性の面から実施されたものである。

2 調査内容

本調査は、以下に示す質問から構成されており、それぞれの詳細は、次頁に示す調査票のとおりである。調査内容は、平日用・休日用とも同一とするが、両者を区別するため平日用は黒文字、休日用は青文字で印刷した。

- (1) 出発空港
- (2) 出発地
- (3) アクセス実態
 - ① 利用手段
 - ② 所要時間
 - ③ 経費
 - ④ 空港滞留時間
 - ⑤ 自家用車来港者の駐車場利用の有無
- (4) 利用航空券の種類・座席の種類
- (5) 目的地
 - ① 目的地
 - ② 到着空港
 - ③ 乗り継ぎ空港・目的空港
- (6) イグレス交通手段
- (7) 旅行目的等
 - ① 旅行目的
 - ② 旅行日数・旅程中の日数
 - ③ 旅行行程の相違
 - ④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港
 - ⑤ 自家用車来港者の駐車場利用の有無
 - ⑥ 同行者数
 - ⑦ 見送り人数
- (8) 個人属性
 - ① 性別
 - ② 年齢
 - ③ 職業
 - ④ 年収
 - ⑤ 現住所
 - ⑥ 同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

調査票サンプル (1)

This is a questionnaire survey for domestic air passengers. Only available in Japanese.



※記入しないで下さい
(調査員記入欄)
氏名

航空旅客動態調査票



おかつろぎのところ誠に恐れ入ります。国土交通省では、飛行機を利用して移動されている方の目的や行程を把握し、今後の航空行政を検討する際の基礎資料とするため『航空旅客動態調査』を実施しております。調査は無記名で実施し、調査票の集計は統計的に処理しておりますので、皆様にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。

お手数をお掛け致しますが、ご協力をいただきたく、よろしくお願い致します。

ご注意下さい

- ◎日帰り旅行の方：行きのみでご回答頂いた場合でも、お手数ですがもう1度ご回答下さい。
- ◎ご家族(現住所が同一の方)で旅行されている方：どなたか代表者の方1名がお答え下さい。
- ◎国内線の乗り継ぎを行った方：既に調査にご回答頂いた場合は、お答えにならないで下さい。

以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号に○印をご記入下さい。

問1. 今回のご旅行全体についてお答え下さい。

問1-1. ご旅行の主な目的をお答え下さい。 ※修学旅行の方は“2. 観光”とお答え下さい。

- | | | | |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------|--------|
| 1. 仕事
(または、仕事の帰り) | 2. 観光
(または、観光の帰り) | 3. 観光以外の私用・帰省
(または、観光以外の私用・帰省の帰り) | 4. その他 |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------|--------|

問1-2. ご旅行の全体的日数をお答え下さい。

1. 日帰り 2. ()泊 ()日
 本日の行程は何日目ですか? ()日目

問1-3. ご旅行の帰り(または、行き)に、現在と同じルートの航空路線を利用されますか(されましたか)?

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 利用する(または、利用した) | 2. 他の航空路線を利用する(または、利用した) |
| 3. 他の交通機関を利用する(または、利用した) | 4. 転居・赴任等により片道の旅行 |
| 5. わからない | |

問1-4. 本日は、国際線を利用される予定ですか(または、利用されましたか)?

1. 利用しない 2. これから利用する(または、すでに利用した)
- 利用する(利用した)空港を (国際)空港
 ご記入下さい。

問2. 航空券についてお答え下さい。

問2-1. 現在お乗りになっている飛行機の航空券の種類をお答え下さい。また、その具体的な運賃をご記入下さい。

- | | | | | |
|---|---------|--------|----------|----------|
| 1. 普通片道運賃 | 2. 往復割引 | 3. 回数券 | 4. マイレージ | 5. 乗継ぎ割引 |
| 6. その他割引運賃 (特定便割引・事前購入割引・シルバー割引・スカイメイト 等) | | | | |
| 7. 団体運賃・パッケージツアー等 | | | | |

具体的な航空運賃又はパッケージツアー料金をご記入下さい。 円

問2-2. 現在お乗りになっている飛行機の座席の種類をお答え下さい。

- | | |
|--------|--|
| 1. 普通席 | 2. 普通席以外の座席 (例:ファーストクラス・クラスJ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】) |
|--------|--|

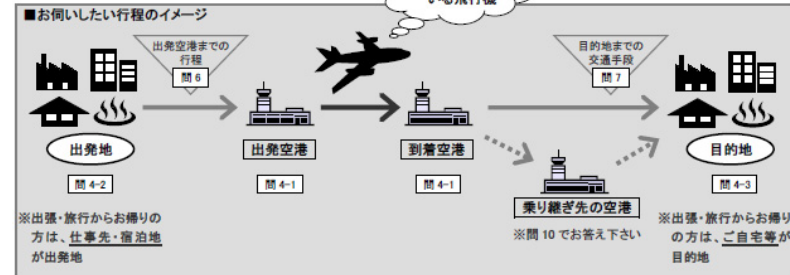
質問は裏面に続きます。 →

問3. あなたご自身の性別・年齢・職業・年収を下の記入表に番号でご記入下さい。また同行されているご家族(現住所が同一の方)についてもご記入下さい。

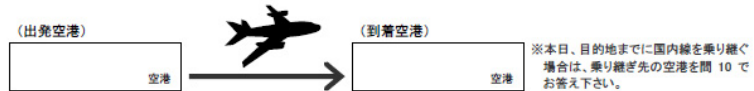
	性別	年齢	職業	年収
	1. 男 2. 女	1. 14歳以下 2. 15~19歳 3. 20~24歳 4. 25~29歳 5. 30~34歳 6. 35~39歳 7. 40~44歳 8. 45~49歳 9. 50~54歳 10. 55~59歳 11. 60~64歳 12. 65~69歳 13. 70~74歳 14. 75歳以上	1. 会社役員 2. 会社員 3. 公務員 4. 農林・漁業 5. 商工・自営業 6. 自由業 7. 学生・生徒・児童 8. 無職・その他	1. なし 2. 100万円未満 3. 100~199万円 4. 200~299万円 5. 300~399万円 6. 400~499万円 7. 500~699万円 8. 700~999万円 9. 1,000~1,499万円 10. 1,500~1,999万円 11. 2,000万円以上
ご本人様				
家族1				
家族2				
家族3				
家族4				
家族5				

年収(税込み)の設問は、航空ご利用者全体の平均的な年収を把握するためにお聞きしております。これより航空ご利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空行政の参考とさせていただきます。

問4. 現在の行程についてお答え下さい。



問4-1. 現在お乗りになっている飛行機の 出発空港 及び 到着空港 をご記入下さい。



調査票サンプル (2)

問4-2. 出発空港へはどちらからいらっしゃいましたか？ **出発地** をご記入下さい。

都道府県	区市	区町	村
------	----	----	---

※地名等が分からない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。
海外の場合は国名をご記入下さい。

問4-3. 本日の **目的地** をご記入下さい。

都道府県	区市	区町	村
------	----	----	---

問5. あなたの現住所をお答え下さい。

1. 出発地と同じ	2. 目的地と同じ	3. どちらでもない
-----------	-----------	------------

「3. どちらでもない」とお答えの方は、現住所をご記入下さい。

都道府県	区市	区町	村
------	----	----	---

※現住所が海外の方は、お住まいの国名をご記入下さい。

問6. **出発地** から **出発空港** までの行程をお答え下さい。

本日、国際線を利用された方へ

※本日、出発空港で国際線から直接乗り継いだ方は、問7にお進み下さい。
※出発空港以外の空港で国際線を利用した方は、国際線到着空港から出発空港までの行程をお答え下さい。
(例えば、成田空港→羽田空港、関西空港→伊丹空港)

問6-1. 出発地から出発空港までの交通機関をご利用の順に○内に番号をご記入下さい。



【問6-1の選択肢】

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|
| 1. 新幹線 | 2. JR特急(新幹線除く) | 3. JR在来線(新幹線・特急除く) |
| 4. 私鉄・地下鉄 | 5. モノレール | 6. 空想旅行バス・都市間バス |
| 7. 貸切バス・観光バス | 8. 市内バス・市外電車 | 9. タクシー・ハイヤー |
| 10. 自家用車、社用・公用車 | 11. レンタカー | 12. 船 |
| 13. その他 | | |

問6-2. 出発地から出発空港までの所要時間をお答え下さい。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 30分以内 | 2. 31分～1時間 |
| 3. 1時間1分～1時間30分 | 4. 1時間31分～2時間 |
| 5. 2時間1分～2時間30分 | 6. 2時間31分～3時間 |
| 7. 3時間1分以上 | |

問6-3. 出発地から出発空港までの交通費はおいくらですか？

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 1,000円以下 | 2. 1,001～2,000円 |
| 3. 2,001～3,000円 | 4. 3,001～4,000円 |
| 5. 4,001～5,000円 | 6. 5,001～10,000円 |
| 7. 10,001円以上 | |

問6-4. 出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか？

時間	分前
----	----

問6-5. (出発空港まで自家用車、または社用・公用車で来られた方のみお答え下さい)
お車を現在どのようにされているかお答え下さい。

- | |
|------------------------|
| 1. 車は空港内の駐車場に置いてきた。 |
| 2. 車は空港外の近くの駐車場に置いてきた。 |
| 3. 車は同乗者が乗って帰った。 |

質問は裏面に続きます。 ➡

問7. **到着空港** から **目的地** までの交通機関をご利用予定の順に○内に番号をご記入下さい。

(本日、国内線を利用される方は、国内線の最終到着空港から目的地までにご利用予定の交通機関をご記入下さい。)

本日、国際線を利用される方へ

※本日、到着空港で直接国際線に乗り継ぐ方は、問8にお進み下さい。
※到着空港以外の空港で国際線を利用される方は、到着空港から国際線出発空港までの行程をお答え下さい。
(例えば、羽田空港→成田空港、伊丹空港→関西空港)



※本日、国内線を利用される方は、国内線の最終到着空港

交通機関の番号を○の中に記入

【問7の選択肢】

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|
| 1. 新幹線 | 2. JR特急(新幹線除く) | 3. JR在来線(新幹線・特急除く) |
| 4. 私鉄・地下鉄 | 5. モノレール | 6. 空想旅行バス・都市間バス |
| 7. 貸切バス・観光バス | 8. 市内バス・市外電車 | 9. タクシー・ハイヤー |
| 10. 自家用車、社用・公用車 | 11. レンタカー | 12. 船 |
| 13. その他 | 14. わからない | |

問8. 3才以上の同行者の人数をご記入下さい。(ご家族以外も含みます)

※同行者がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

	人
--	---

問9. 空港までお見送りの方的人数をご記入下さい。(小学生以上)

※お見送りの方がいない場合は、「0人」とご記入下さい。

	人
--	---

本日、目的地までに国内線を利用される方へ

問10. 本日、**目的地** までに国内線を利用される場合は、乗り継ぎ先の空港を順番にご記入下さい。



乗り継ぎと考える場合の例

◆福岡空港 → 羽田空港 → 新千歳空港
(福岡空港 → 羽田空港 の区間において本調査を受けられた場合、上記回答欄には“新千歳”をご記入下さい。)

※飛行機を乗り換えるために以下の空港間を移動する場合も『国内線を利用される方へ』とお考え下さい。

◆羽田空港 ⇄ 成田空港 ◆伊丹空港 ⇄ 関西空港 神戸空港 ⇄ 伊丹空港
◆中部空港 ⇄ 名古屋小牧空港 ◆新千歳空港 ⇄ 丘珠空港

ご協力ありがとうございました。

3 調査対象

本調査の対象は、調査実施日に国内航空路線を利用する全航空旅客とする。

4 調査方法

国内航空会社（21社）の協力を得て、原則として客室乗務員が航空機内で調査票の配布・回収を行っているが、フライト時間が短い路線の場合、搭乗口で配布し機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席にセットし機内で回収する方法をとっている。

また、客室乗務員が乗務しない路線や、航空機内での実施が困難な路線では、搭乗手続き時に係員が調査票を配布し、搭乗時に回収を行う方法等をとっている。

5 調査実施日

本調査は、平成22年11月28日（日曜日）【休日調査】、翌12月1日（水曜日）【平日調査】に実施した。

なお、天候不良等で調査を実施できなかった便については、原則翌日または翌週の同曜日に調査を実施している。（場合によって調査実施日が異なる場合がある。）

また、休日調査については、休日の旅客流動の特性を踏まえるため、調査を実施できない場合、翌週の日曜日に原則実施している。

6 回収状況

調査実施日における航空会社別の旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

航空会社別回収結果

航空会社	項目	平日調査					休日調査				
		提供座席数(A) (席/日)	旅客数(B) (人/日)	搭乗率(B/A) (%)	回収数(C) (票)	回収率(C/B) (%)	提供座席数(A) (席/日)	旅客数(B) (人/日)	搭乗率(B/A) (%)	回収数(C) (票)	回収率(C/B) (%)
日本航空グループ (JAL・JTA・JAC・RAC・J-AIR・HAC・JEX)		137,553	77,108	56.1%	47,870	62.1%	135,900	100,098	73.7%	69,414	69.4%
全日本空輸グループ (ANA・ANK・AKX)		169,350	92,805	54.8%	43,474	46.8%	171,434	123,882	72.3%	61,542	49.7%
新中央航空株式会社		320	173	54.1%	106	61.3%	320	173	54.1%	127	73.4%
オリエンタルエアブリッジ株式会社		936	370	39.5%	318	85.9%	1,014	544	53.7%	504	92.6%
東邦航空株式会社		90	58	64.4%	47	81.0%	90	53	58.9%	43	81.1%
スカイマーク株式会社		16,638	10,246	61.6%	4,249	41.5%	16,284	12,893	79.2%	5,220	40.5%
北海道国際航空株式会社		9,910	4,680	47.2%	2,832	60.5%	9,929	7,627	76.8%	5,268	69.1%
IBEX エアラインズ株式会社		2,000	1,101	55.1%	825	74.9%	2,100	1,572	74.9%	1,311	83.4%
天草エアライン株式会社		390	163	41.8%	90	55.2%	390	200	51.3%	111	55.5%
スカイネットアジア航空株式会社		6,900	3,361	48.7%	1,903	56.6%	6,900	5,444	78.9%	3,615	66.4%
株式会社スターフライヤー		4,032	2,668	66.2%	1,839	68.9%	4,320	3,568	82.6%	2,335	65.4%
株式会社フジドリームエアラインズ		2,024	594	29.3%	493	83.0%	2,072	1,154	55.7%	979	84.8%
第一航空株式会社		72	47	65.3%	37	78.7%	72	33	45.8%	27	81.8%
合計		350,215	193,374	55.3%	104,083	53.8%	350,825	257,241	73.5%	150,496	58.5%

7 集計内容

本調査においては、次章の「1. 集計結果（平日）」及び「2. 集計結果（休日）」の表1～表15に示す各集計を行った。各表の内容については、以下にまとめるとおりである。

なお、問8の回答に基づき、旅客の個人属性についての単純集計結果をまとめると、以下に示すとおりとなる。

単純集計結果（1）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男性	65,955	67.0%	78,624	54.8%
	女性	32,457	33.0%	64,848	45.2%
	(不明)	5,671	-	7,024	-
	合計	104,083	100.0%	150,496	100.0%
職業	会社役員	11,042	11.2%	11,206	7.8%
	会社員	45,504	46.2%	58,424	40.9%
	公務員	5,975	6.1%	12,466	8.7%
	農業・漁業	1,560	1.6%	1,608	1.1%
	商工・自営業	2,496	2.5%	4,417	3.1%
	自由業	3,084	3.1%	5,169	3.6%
	学生・生徒・児童	9,078	9.2%	13,477	9.4%
	無職・その他	19,782	20.1%	36,060	25.2%
	(不明)	5,562	-	7,669	-
	合計	104,083	100.0%	150,496	100.0%

単純集計結果（２）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
年齢	14歳以下	2,833	2.8%	6,835	4.7%
	15～19歳	5,693	5.7%	6,324	4.4%
	20～24歳	3,379	3.4%	6,027	4.1%
	25～29歳	6,170	6.2%	12,228	8.4%
	30～34歳	8,038	8.0%	13,395	9.2%
	35～39歳	10,219	10.2%	14,253	9.8%
	40～44歳	11,225	11.2%	13,950	9.6%
	45～49歳	11,426	11.4%	14,374	9.9%
	50～54歳	11,167	11.2%	15,003	10.3%
	55～59歳	10,402	10.4%	14,583	10.0%
	60～64歳	9,507	9.5%	13,640	9.4%
	65～69歳	5,058	5.1%	7,370	5.1%
	70～74歳	2,878	2.9%	4,352	3.0%
	75歳以上	2,068	2.1%	2,980	2.1%
	(不明)	4,020	-	5,182	-
合計	104,083	100.0%	150,496	100.0%	
年収 (税込み)	なし	15,167	16.0%	25,516	18.7%
	100万円未満	4,555	4.8%	8,268	6.1%
	100～199万円未満	4,296	4.5%	8,413	6.2%
	200～299万円未満	6,299	6.7%	12,533	9.2%
	300～399万円未満	7,763	8.2%	14,361	10.6%
	400～499万円未満	7,671	8.1%	12,713	9.3%
	500～699万円未満	13,976	14.8%	18,449	13.6%
	700～999万円未満	16,501	17.4%	16,936	12.4%
	1000～1499万円未満	12,011	12.7%	11,516	8.5%
	1500～1999万円未満	3,024	3.2%	3,529	2.6%
	2000万円以上	3,359	3.5%	3,867	2.8%
	(不明)	9,461	-	14,395	-
	合計	104,083	100.0%	150,496	100.0%

単純集計結果（3）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	9,927	10.6%	14,871	11.1%
	青森県	868	0.9%	1,133	0.8%
	岩手県	275	0.3%	424	0.3%
	宮城県	1,547	1.7%	1,921	1.4%
	秋田県	614	0.7%	907	0.7%
	山形県	411	0.4%	656	0.5%
	福島県	412	0.4%	705	0.5%
	茨城県	1,214	1.3%	2,102	1.6%
	栃木県	767	0.8%	1,085	0.8%
	群馬県	367	0.4%	888	0.7%
	埼玉県	4,136	4.4%	6,270	4.7%
	千葉県	4,707	5.0%	6,684	5.0%
	東京都	14,627	15.7%	19,668	14.7%
	神奈川県	7,910	8.5%	10,278	7.7%
	新潟県	953	1.0%	918	0.7%
	富山県	549	0.6%	657	0.55%
	石川県	1,029	1.1%	1,448	1.1%
	福井県	185	0.2%	291	0.2%
	山梨県	311	0.3%	945	0.7%
	長野県	548	0.6%	630	0.5%
	岐阜県	461	0.5%	715	0.5%
静岡県	1,475	1.6%	1,306	1.0%	
愛知県	2,376	2.5%	3,893	2.9%	
三重県	423	0.5%	629	0.5%	
滋賀県	795	0.9%	606	0.5%	

単純集計結果（４）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	京 都 府	739	0.8%	1,348	1.0%
	大 阪 府	5,617	6.0%	7,578	5.7%
	兵 庫 県	3,569	3.8%	4,814	3.6%
	奈 良 県	711	0.8%	914	0.7%
	和 歌 山 県	332	0.4%	610	0.5%
	鳥 取 県	427	0.5%	489	0.4%
	島 根 県	638	0.7%	1,088	0.8%
	岡 山 県	586	0.6%	982	0.7%
	広 島 県	1,158	1.2%	1,907	1.4%
	山 口 県	688	0.7%	1,180	0.9%
	徳 島 県	586	0.6%	858	0.6%
	香 川 県	616	0.7%	836	0.6%
	愛 媛 県	1,239	1.3%	1,859	1.4%
	高 知 県	547	0.6%	1,081	0.8%
	福 岡 県	6,357	6.8%	9,283	6.9%
	佐 賀 県	604	0.6%	1,038	0.8%
	長 崎 県	1,374	1.5%	2,509	1.9%
	熊 本 県	1,788	1.9%	2,676	2.0%
	大 分 県	912	1.0%	1,597	1.2%
	宮 崎 県	1,642	1.8%	2,194	1.6%
	鹿 児 島 県	2,340	2.5%	3,504	2.6%
	沖 縄 県	3,475	3.7%	5,399	4.0%
	海 外	431	0.5%	573	0.4%
(不 明)	10,820	-	16,549	-	
合 計	104,083	100.0%	150,496	100.0%	

表1 OD表（空港間純流動） [問4-1・問10]

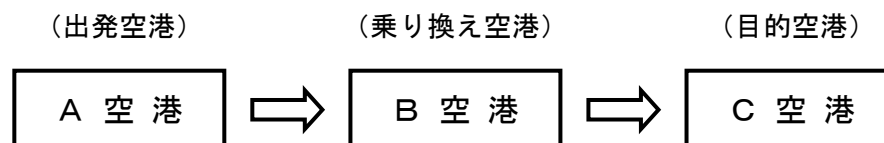
表1は、各旅客の調査実施日における最初の出発空港と最後の到着空港（目的空港）間における流動について集計したものであり、純流動ベースの空港間OD表である。

純流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地にかかわらず1トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A空港] → [C空港] のトリップを行った旅客として集計される。

したがって、純流動ベースのOD表においては、路線（直行便）が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例 (乗り換えを1回行った場合)



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	0	1
B	0	0	0
C	0	0	0

表2 OD表（空港間総流動） [問4-1・問10]

表2は、各路線における流動を集計したものであり、総流動ベースのOD表である。

総流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地の状況を考慮し、区間毎の流動を1トリップとして集計する流動である。

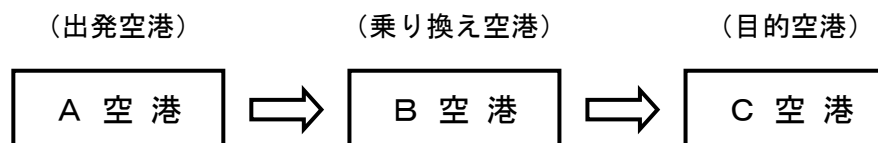
以下の例に示すとおり、A空港を出発し、B空港で乗り換えを行い、最終的にC空港に至った旅客は、[A空港] → [B空港] として1トリップ、[B空港] → [C空港] として1トリップの計2トリップが集計される。

したがって、総流動ベースのOD表では、原則として路線（直行便）が開設・運航されている空港間みの流動量が集計される。

ただし、羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、新千歳⇔丘珠、中部⇔小牧、広島⇔広島西 の区間については、地上交通機関を利用して当該区間を乗り継いだ旅客数を集計しており、表2の中では内数として括弧書きで示している。

例

（乗り換えを1回行った場合）



目的空港 出発空港	A	B	C
A	0	1	0
B	0	0	1
C	0	0	0

表3 OD表（県間流動） [問4-2・問4-3]

表3は、出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の観点から、都道府県間における流動を集計したものであり、純流動ベースのOD表である。

すなわち、ここでは、旅客がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空を利用したのかについて集計したものであり、したがって、出発地あるいは目的地となる都道府県は、出発空港あるいは目的空港が立地する都道府県とは、必ずしも一致しないことになる。

なお、出発地あるいは目的地については、国際線との乗り換えを行う場合は外国として集計され、無回答の場合は不明として集計される。

表4 空港別 出発地・目的地・現住所 [問4-1・問4-2・問4-3・問5-2・問10]

表4は、各空港における出発旅客の出発地、到着旅客の目的地、及びこれらの合計と、出発旅客及び到着旅客の現住所について集計したものである。

なお、ここでの、出発旅客、到着旅客とは、乗り換え旅客を含んでおらず、純流動ベースのOD集計結果(表1)から得られる各空港の発着旅客数に一致する。また、表4に示す市区町村は、平成22年12月1日時点の全国地方公共団体コード(総務省)に準じており、各空港の所在都道府県を最初に表示し、以降は全国地方公共団体コード順に示している。

例) 羽田空港 平日 表4 空港別 出発地・目的地・現住所 (単位:人)

地区名	出発旅客数(出発地)	%	到着旅客数(到着地)	%	合計(乗降旅客数)	%	乗降客の現住所	%
東京都								
千代田区	1,448	4.5	1,644	5.4	3,092	4.9	277	0.4
中央区	1,091	3.4	1,185	3.9	2,276	3.6	357	0.6
港区	1,738	5.4	2,024	6.6	3,762	6.0	707	1.1
新宿区	788	2.4	902	3.0	1,690	2.7	451	0.7
文京区	400	1.2	461	1.5	861	1.4	291	0.5

○出発旅客数(出発地) ・羽田空港の出発便に搭乗した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の出発地について、市区町村別に集計したものである。ここで出発地とは、調査当日の対象トリップにおいて羽田空港に向けて移動し始めた地点である。
 ・上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した旅客が1,448人であったことを示している。
 ※羽田空港を出発した旅客の到着地については、到着空港の表4における“到着旅客数(到着地)”に集計される。

○到着旅客数(到着地) ・羽田空港の到着便に搭乗していた旅客(羽田空港で乗り換える旅客を除く)の到着地について、市区町村別に集計したものである。ここで到着地とは、対象トリップの目的地を意味している。
 ・上記の例では、羽田空港で降機した後、千代田区を目的地として向かった旅客が1,644人であったことを示している。
 ※羽田空港に到着した旅客の出発地については、出発空港の表4における“出発旅客数(出発地)”に集計される。

○合計(乗降旅客数) ・出発旅客数(出発地)と到着旅客数(到着地)の合計値

○乗降客の現住所 ・羽田空港を利用した旅客(羽田空港で乗り換えた旅客を除く)の現住所について、市区町村別に集計したものである。
 ・上記の例では、羽田空港利用者のうち、千代田区に現住所がある旅客が277人であったことを示している。

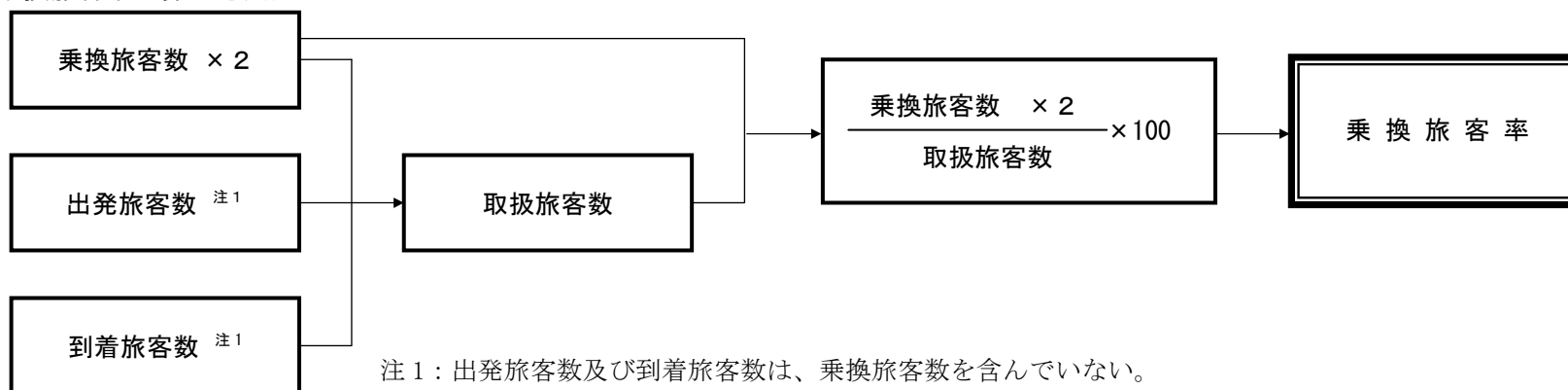
表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 [問4-1・問10]

表5は、各空港における純流動ベースでの出発旅客数と到着旅客数、及び当該空港で飛行機の乗り換えを行った旅客（乗換旅客数）について集計したものである。また、これらの数値を用いて、以下に示す方法で、乗換旅客がそれぞれの空港における取扱旅客数（出発旅客・到着旅客・乗換旅客の合計）に対し、どの程度の割合を占めているか（乗換旅客率）を算出している。

なお、乗換旅客数については、空港取扱い旅客の観点からみた場合、乗り換えのために空港に到着した時点で到着旅客として1人、その後、他の路線（便）で出発した時点で出発旅客として1人の延べ2人の旅客としてカウントする必要がある。このことから、ここでの計算過程においては、乗換旅客数を2倍することによって、取扱旅客数を計算している。

※表5の乗換旅客数の列には2倍する前の乗換旅客数（実人数）が入力されている。

（乗換旅客率の算出方法）



注1：出発旅客数及び到着旅客数は、乗換旅客数を含んでいない。

例) 平日 表5 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数 (単位：人)

空港名	出発旅客数	到着旅客数	合計	乗換旅客数	取扱旅客数	乗換旅客率 %
稚内	41	86	127	0	127	0.0
釧路	425	455	880	0	880	0.0
函館	691	666	1,357	11	1,379	1.6
旭川	534	487	1,021	0	1,021	0.0
帯広	363	355	718	0	718	0.0

注2：函館空港において飛行機を乗り継いだ旅客数が11人であったことを示している。

函館空港の取扱旅客数＝出発旅客数（691人）＋到着旅客数（666人）＋乗換旅客数（11人）×2＝1,379人

<< 表 6 ～ 表 10 の集計対象 >>

表 6 ～ 表 10 は純流動ベースの空港間 OD の集計表である。集計対象は、路線（直行便）が開設・運航されている空港間（平日：212 組、休日：213 組）と、開設・運航されている路線（直行便）はないながらも、純流動ベースによる空港間 OD 表（表 1）において往復合計で 20 以上のサンプル（回収票）があった空港間（平日：44 組、休日：50 組）であり、平日調査で 256 組、休日調査で 263 組の OD ペアが集計対象となる。

集計は純流動ベースであるため、路線（直行便）が開設・運航されている空港間 OD の集計においては、乗り換え経路の旅客が含まれている。例えば、福岡～新千歳路線の集計には直行便利用者の他、福岡～羽田～新千歳のように羽田空港等で乗り換えを行った旅客が含まれている。

また、路線（直行便）が開設・運航されている空港間 OD については『航空輸送統計年報』の掲載順に集計結果を示しており、路線（直行便）が開設されていない OD については、以下のように優先順位を設定し集計結果を示している。

■ 路線（直行便）が開設されていない路線の表示に係る考え方（優先順位）

①羽田 ②成田 ③伊丹 ④関西 ⑤新千歳 ⑥中部 ⑦福岡 ⑧那覇 ⑨その他 *相手空港は空港コード順とする。

※直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプルがあった OD ペアは、次のとおりである。

直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプル(回収票)があったODペア

平日調査

羽田・成田		伊丹・関西		新千歳・中部・福岡・那覇		その他	
羽田－福江	(36)	伊丹－釧路	(51)	新千歳－出雲	(32)	函館－鹿児島	(23)
羽田－種子島	(22)	伊丹－函館	(40)	新千歳－岡山	(23)	神戸－石垣	(25)
羽田－屋久島	(72)	伊丹－旭川	(71)	新千歳－徳島	(34)		
成田－三沢	(20)	伊丹－帯広	(54)	新千歳－高松	(72)		
成田－宮崎	(24)	伊丹－女満別	(61)	新千歳－松山	(113)		
成田－鹿児島	(26)	伊丹－庄内	(22)	新千歳－高知	(27)		
		伊丹－種子島	(24)	新千歳－長崎	(24)		
		伊丹－徳之島	(36)	新千歳－熊本	(49)		
		伊丹－宮古	(100)	新千歳－鹿児島	(57)		
		関西－宮古	(36)	新千歳－那覇	(113)		
				中部－宮古	(23)		
				福岡－函館	(29)		
				福岡－青森	(20)		
				福岡－秋田	(41)		
				福岡－奄美	(42)		
				福岡－宮古	(42)		
				福岡－石垣	(71)		
				那覇－函館	(22)		
				那覇－旭川	(38)		
				那覇－帯広	(33)		

※ () 内の数値は、サンプル数を示す。

休日調査

羽田・成田		伊丹・関西		新千歳・中部・福岡・那覇		その他	
羽田－但馬	(28)	伊丹－釧路	(47)	新千歳－岡山	(61)	帯広－広島	(33)
羽田－福江	(30)	伊丹－函館	(52)	新千歳－山口宇部	(22)	仙台－鹿児島	(31)
羽田－種子島	(47)	伊丹－旭川	(70)	新千歳－高松	(75)	秋田－広島	(20)
羽田－屋久島	(48)	伊丹－帯広	(73)	新千歳－松山	(109)	小松－鹿児島	(37)
羽田－徳之島	(29)	伊丹－女満別	(64)	新千歳－高知	(42)	神戸－石垣	(25)
羽田－久米島	(66)	伊丹－庄内	(30)	新千歳－長崎	(35)	広島－石垣	(50)
成田－青森	(38)	伊丹－対馬	(31)	新千歳－熊本	(47)		
成田－松山	(38)	伊丹－種子島	(25)	新千歳－宮崎	(42)		
		伊丹－徳之島	(31)	新千歳－鹿児島	(92)		
		伊丹－宮古	(36)	新千歳－那覇	(269)		
		伊丹－石垣	(20)	中部－種子島	(30)		
		関西－久米島	(61)	中部－久米島	(23)		
		関西－宮古	(54)	中部－宮古	(81)		
				福岡－釧路	(32)		
				福岡－函館	(32)		
				福岡－旭川	(20)		
				福岡－青森	(28)		
				福岡－秋田	(26)		
				福岡－奄美	(37)		
				福岡－宮古	(37)		
				福岡－石垣	(76)		
				那覇－旭川	(27)		
				那覇－青森	(37)		

※ () 内の数値は、サンプル数を示す。

表6 OD別 旅行目的 [問1-1・問4-1・問10]

表6は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅客の旅行目的を集計したものである。

表7 OD別 旅行日数 [問1-2・問4-1・問10]

表7は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた旅行日数を集計したものであり、日帰り以外の旅客については調査を受けた日が旅行中の何日目であるかについても集計した。

調査を受けた日（日帰り以外の旅客）の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 平日 表7 OD別 旅行日数 (単位: 人)

OD名	日帰り	旅行日数									調査を受けた日(宿泊を伴う旅客)									不明	合計			
		%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目			%	5日目以上	%
羽田-新千歳	930	10.6	3,040	34.7	2,453	28.0	1,031	11.8	1,306	14.9	253	9,013	3,981	53.9	1,437	19.5	996	13.5	401	5.4	569	7.7	699	8,083
羽田-伊丹	1,825	25.6	2,763	38.8	1,636	23.0	404	5.7	490	6.9	110	7,228	2,688	53.7	1,262	25.2	686	13.7	157	3.1	216	4.3	394	5,403
羽田-関西	380	29.1	421	32.3	278	21.3	64	4.9	161	12.3	37	1,341	456	52.3	206	23.6	117	13.4	30	3.4	63	7.2	89	961
羽田-福岡	1,387	15.4	3,211	35.7	2,349	26.1	812	9.0	1,228	13.7	235	9,222	4,038	56.0	1,490	20.7	938	13.0	279	3.9	467	6.5	623	7,835
羽田-那覇	158	3.1	546	10.7	1,012	19.7	2,727	53.2	682	13.3	94	5,219	2,539	55.2	240	5.2	397	8.6	1,145	24.9	281	6.1	459	5,061

表8 OD別 旅行行程 [問1-3・問4-1・問10]

表8は、純流動ベースによる空港間ODペア別にみた復路（調査時点が復路の場合は往路）の利用交通機関の状況について集計したものである。

表9-1 OD別 利用航空券の種類 [問2-1・問2-2・問4-1・問10]

表9-2 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表9-1は、利用航空券の種類および座席の種類について、純流動ベースによる空港間ODペア別に集計したものであるが、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客は最初の区間の利用航空券の種類を集計している。

利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“回数券”、“マイレージ”、“乗継ぎ割引”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の7区分で集計している。その他割引運賃については、具体的な航空運賃の回答結果に基づき、平成22年11・12月の普通運賃に対する割引率を算出した上で、以下の集計表9-2の例に示すとおり7段階の幅で集計した。なお、普通運賃が複数存在する路線に関して、割引率の計算に用いる普通運賃は大手航空会社（JALまたはANA）の普通運賃としている。また、普通運賃が複数存在する路線は*で示している。

なお、具体的な航空運賃が未記入（割引率不明）であるサンプルが多くなっているが、表9-2において“その他割引（不明）”として集計している。また、平成22年度調査においては航空運賃に関する設問が変更され、“航空運賃またはパッケージツアー料金”を記入する形式となったため、普通運賃よりも高い金額を回答したサンプルが増加している（航空運賃とパッケージツアー料金が誤認された可能性がある）。この様な、普通運賃よりも高額を回答したサンプルに関しては、“その他割引（不明）”に分類をして集計している。

例) 平日 表9-2 OD別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）（単位：人）

OD名	平成22年12月 普通運賃	その他割引 (0~10%)	割引率の内訳								その他割引 (不明)	その他割引 合計					
			% その他割引 (11~20%)	% その他割引 (21~30%)	% その他割引 (31~40%)	% その他割引 (41~50%)	% その他割引 (51~60%)	% その他割引 (61~)									
羽田-新千歳 *	33,500	17	1.3	118	8.8	216	16.1	198	14.7	85	6.3	113	8.4	597	44.4	1,701	3,045
羽田-伊丹	22,500	8	0.7	22	1.9	59	5.1	608	52.2	349	30.0	102	8.8	17	1.5	1,602	2,767
羽田-関西 *	22,500	1	0.4	1	0.4	9	3.5	157	61.1	74	28.8	14	5.4	1	0.4	294	551
羽田-福岡 *	36,700	22	1.5	133	9.1	157	10.7	537	36.7	51	3.5	148	10.1	417	28.5	1,797	3,262
羽田-那覇 *	40,800	10	2.8	43	12.2	45	12.8	32	9.1	17	4.8	28	8.0	177	50.3	419	771

表9-3 路線別 利用航空券の種類 [問2-1・問2-2・問4-1]

表9-4 路線別 利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表9-3・表9-4は、表9-1・表9-2について路線別に集計したものである。したがって、利用航空券の種類に関する設問は、

調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客についても最初の区間のみを集計対象としている。

また、集計対象となる路線は直行便が開設・運航されている空港間のみとなり、表9-1・表9-2の全ODペアと表9-3・表9-4の全路線の合計件数は一致している。

表 10 OD別 乗り換え空港 [問4-1・問10]

表 10 は、純流動ベースによる空港間ODペアについて、直行便の利用者と他空港で乗り換えを行った旅客に分けて、その内訳を集計したものであり、特に、乗り換えを行った旅客が利用した空港（乗り換え空港）については、上位3空港を抽出し、それぞれにおける乗り換え旅客数を集計した。

羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、新千歳⇔丘珠、中部⇔小牧、広島⇔広島西 の区間は、乗り換え経路として対象としている。

表 11 出発空港別 最終アクセス手段・到着空港別 最初イグレス手段・駐車場利用の有無 [問4-1・問6-1・問6-5・問7・問10]

表 11 は、各出発空港において出発旅客が空港到着時に利用した交通手段（最終アクセス手段）と、各到着空港において到着旅客が目的空港到着後に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計したものである。また最終アクセス手段が“自家用車”の旅客については、駐車場利用の有無について“空港内（空港内の駐車場を利用した）”、“近辺（空港外の近くの駐車場を利用した）”、“無し（同乗者が乗って帰ったため、駐車場の利用無し）”の3区分で集計を行った。

表 12 出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数 [問4-1・問6-1・問6-2]

表 12 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、空港アクセスに際して行った交通機関の乗り換え回数について集計したものである。

表 13 出発空港別 アクセス経費 [問4-1・問6-1・問6-3]

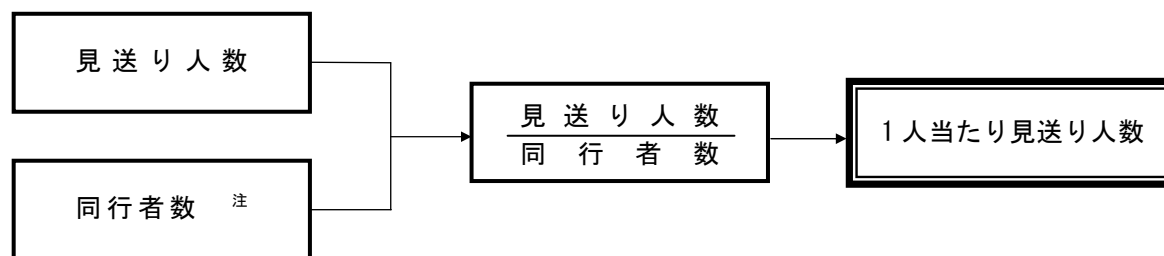
表 13 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。

※アクセス経費の集計には自家用車利用者も含まれている。

表 14 出発空港別 見送り人数・空港滞留時間 [問4-1・問6-4・問8・問9]

表 14 は、各空港における出発旅客 1 人当たりの見送り人数と、出発旅客が出発空港に到着してから搭乗した航空機が出発するまでターミナルビル内にいた時間（空港滞留時間）について集計したものである。旅客 1 人当たり見送り人数の算出方法は、以下に示すとおりである。また、空港滞留時間とは、旅客が航空機の出発時刻の何分前に空港に到着したかを示している。

（1 人当たり見送り人数の算出方法）



注：同行者数には本人を含む。

表 15-1 空港間移動の手段 [問 4-1・問 4-2・問 4-3・問 6-1・問 7・問 10]

表 15-2 空港間移動の所要時間 [問 4-1・問 4-2・問 4-3・問 6-2・問 10]

表 15-3 空港間移動の経費 [問 4-1・問 4-2・問 4-3・問 6-3・問 10]

表 15 は、成田空港、関西空港、中部空港より国際線を利用した（利用する）旅客（出発地あるいは目的地が“海外”の旅客）について、羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、中部⇔小牧 の空港間の移動に関する「最終アクセス・最初イグレス手段」、各空港間における「所要時間」・「経費」について集計したものである。

表 15-1 の集計項目において集計対象としている行程及びその交通手段のカラムは以下の通りである。また表 15-2、表 15-3 において集計している「所要時間」・「経費」に関する設問は、空港アクセスに関する設問であるため、下表の印（●、○、■、□）のついた行程のみが集計対象となる。

表15-1			表15-2・表15-3		
集計項目	行程		空港間移動の手段 の集計対象カラム	集計項目	空港間移動の所要時間 ・費用の集計対象
	→ 集計対象	⇒ 調査区間（国内線）			
① 海外→成田→羽田→国内各地	羽田最終アクセス	海外→成田→（地上交通機関）→羽田⇒国内各地	アクセス（5）	羽田-成田	●
② 国内各地→羽田→成田→海外	羽田最初イグレス	国内各地⇒羽田→（地上交通機関）→成田→海外	イグレス（1）		
③ 国内各地→羽田→成田→海外	成田最終アクセス	国内各地⇒羽田→（地上交通機関）→成田→海外	最後イグレス		
④ 海外→成田→羽田→国内各地	成田最初イグレス	海外→成田→（地上交通機関）→羽田⇒国内各地	最初アクセス	羽田-成田	●
⑤ 海外→関西→伊丹→国内各地	伊丹最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）→伊丹⇒国内各地	アクセス（5）	伊丹-関西	○
⑥ 国内各地→伊丹→関西→海外	伊丹最初イグレス	国内各地⇒伊丹→（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（1）		
⑦ 国内各地→伊丹→関西→海外	関西最終アクセス	国内各地⇒伊丹→（地上交通機関）→関西→海外	最後イグレス		
⑧ 海外→関西→伊丹→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→（地上交通機関）→伊丹⇒国内各地	最初アクセス	伊丹-関西	○
⑨ 海外→関西→神戸→国内各地	神戸最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）→神戸⇒国内各地	アクセス（5）	神戸-関西	■
⑩ 国内各地→神戸→関西→海外	神戸最初イグレス	国内各地⇒神戸→（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（1）		
⑪ 国内各地→神戸→関西→海外	関西最終アクセス	国内各地⇒神戸→（地上交通機関）→関西→海外	最後イグレス		
⑫ 海外→関西→神戸→国内各地	関西最初イグレス	海外→関西→（地上交通機関）→神戸⇒国内各地	最初アクセス	神戸-関西	■
⑬ 海外→中部→小牧→国内各地	小牧最終アクセス	海外→中部→（地上交通機関）→小牧⇒国内各地	アクセス（5）	小牧-中部	□
⑭ 国内各地→小牧→中部→海外	小牧最初イグレス	国内各地⇒小牧→（地上交通機関）→中部→海外	イグレス（1）		
⑮ 国内各地→小牧→中部→海外	中部最終アクセス	国内各地⇒小牧→（地上交通機関）→中部→海外	最後イグレス		
⑯ 海外→中部→小牧→国内各地	中部最初イグレス	海外→中部→（地上交通機関）→小牧⇒国内各地	最初アクセス	小牧-中部	□

※①と④、⑤と⑧、⑨と⑫、⑬と⑯は同じ行程であり、これらの行程を対象とし表 15-2、表 15-3 において空港間移動の所要時間・費用の集計を行っている。